

# 岩手高教組情報

No. 10

2018年  
1月30日(火)

岩手県高等学校教職員組合 〒020-0883 盛岡市志家町11番13号 高校教育会館内  
TEL 019-624-5227 FAX 019-653-2285 E-mail:iwako@jtu-iwako.jp  
岩手高教組機関誌 発行/情宣部 印刷/杜陵プリント社

●岩手高教組執行委員長あいさつ ●新春メッセージ ●退職手当引き下げ阻止のとりくみ ●人権教育学習会 ●臨時・非常勤教職員の継続任用希望者名簿手交 ●2018年度から初任研見直し ●実習教諭・寄宿舎指導員採用試験結果発表 ●3.8国際女性デー岩手集会 ●学校における働き方改革実現集会 ●カンパのお願い ●教育フォーラムin南リアス ●2月の行事予定 ●ワークルールクイズ ●喜怒哀楽

## 謹賀新年

岩手高教組執行委員長 小野寺 正 宏

新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、執行委員会を代表してご挨拶を申し上げます。



昨年は、学校現場の超勤多忙化の問題がクローズアップされました。マスコミにも大きく取り上げられ、中教審や文科省も緊急提言および緊急対策を発する状況になっています。何か教育に関する問題があると学校に対する批判により、教職員の負担と責任が増え続けました。「子どもたちのため」という一言で、学校が社会の多種多様なことを引き受け、それが無定量に肥大してしまった結果が今の状況を生んでいます。私たち教職員の本来の仕事とは何なのか、組合員のみなさんと議論する必要があります。それと同時に私たち自身で働き方をもう一度見直す時期にきていると思います。子どもたちに豊かな教育を保障し、私たち教職員がいきいきと働きがいのある職場を構築するため組合員のみなさんの力をおかりしながら推しすすめてきたいと思います。

衆議院議員選挙では、野党の混乱に乗じて自民党が圧勝しました。アベノミクスにより景気は上昇していると言いますが、その実感は一般の国民にはほとんどありません。失業率も改善していると言いますが、その中身は非正規の雇用が増大し、国民の経済格差がますます拡大しているように感じます。子どもたちが、どんな環境に生まれようとも育てようとも、等しく豊かな教育が受けられるよう本来の意味の公教育の役割を再認識し、運動を推しすすめる必要があります。

賃金については何とかプラスの改善がありました。78万1千円の退職手当の削減の問題が大きく立ちだかっています。震災復興もまだまだ十分にすすんでいません。被災地に住む子どもたちの教育環境、そこで働く私たちの仲間の職場環境、そして、公教育の根幹にかかわる高校再編や通学区域の見直し、基礎力確認テストや大学入試改革等の高大接続等の問題があります。また、観点別学習評価やアクティブラーニングの導入等、学習内容のみならず評価方法や教え方にまで国が口をはさみ、子どもたちにゴールを設定し、そこに追い立てる資質能力論に立脚した新学習指導要領にかかわる問題もあります。さらに、先の衆議院議員選挙で与党が圧勝したことによる憲法改正がいよいよ現実味を帯びてきた問題、いまだに故郷へ帰還できない、帰還したくても帰還できない避難者や汚染水、廃炉等解決の出口が見えない原発の問題等々、重要な問題が山積しています。

これらの諸課題を解決するには組織率が重要です。何をするにも9割の組織率は岩手高教組にとって大いなる武器であり、他に誇れる財産です。数多ある諸課題解決のため、友愛と信義を大切に、組合員が共に支え合い、一致団結したとりくみを切にお願いいたします。